



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL <http://www.uchiyama-gr.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	13,421	2.4	497	△13.8	615	△8.1	452	2.1
2018年3月期第2四半期	13,100	7.9	576	166.8	669	91.3	442	111.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 461百万円(2.8%) 2018年3月期第2四半期 448百万円(120.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	23.40	—
2018年3月期第2四半期	22.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	30,148	15,761	52.3
2018年3月期	29,986	15,397	51.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 15,761百万円 2018年3月期 15,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年3月期	—	5.00			
2019年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,781	5.2	1,318	10.6	1,371	1.4	881	9.1	45.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	21,618,800株	2018年3月期	21,618,800株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,287,777株	2018年3月期	2,287,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	19,331,024株	2018年3月期2Q	19,331,024株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2018年11月21日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調にありますが、加熱する貿易摩擦への懸念、地震や台風などの自然災害リスクなど不安定な要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下におきまして、当社グループでは、各セグメントで事業戦略に基づく営業活動等を積極的に推し進めてまいりました。また、介護事業、カラオケ事業、飲食事業間において、相互のシナジー効果を向上させるよう様々な取り組みを企画し実践するなどして、積極的にサービスの付加価値向上に努めました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,421,284千円（前年同期比2.4%増）、営業利益は497,014千円（同13.8%減）、経常利益は615,333千円（同8.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は452,331千円（同2.1%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

a. 介護事業

介護事業におきましては、5月に介護付有料老人ホーム「さわやかおかざき館（愛知県岡崎市）」及び併設で障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家おかざき館」ならびに障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家しものせき館（山口県下関市）」を開設したほか、6月には介護付有料老人ホーム「さわやか桜参番館（秋田県秋田市）」及び併設で障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家さくら館」ならびに介護付有料老人ホーム「さわやかひめじ館（兵庫県姫路市）」を新規開設いたしました。これにより、当第2四半期末時点での営業拠点は99ヶ所176事業所となりました。既存施設におきましては、空室を減らすために、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指した結果、当第2四半期連結累計期間での既存施設の平均入居率は96.4%（前年同期既存平均入居率93.4%）となりました。

これらの結果、売上高は8,809,339千円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は693,910千円（同4.5%増）となりました。

b. カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、SNSを活用しクーポン等を積極的に送信するなどして集客の向上に努めましたが、6月14日からはじまった2018FIFAワールドカップロシア大会への関心が高く客足が鈍ったことに加え、7月に発生した「平成30年7月豪雨」や相次いで上陸した台風などの自然災害の影響を受け集客が減少しました。この結果、売上高は3,603,390千円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は367,682千円（同0.5%増）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間において新規の開店は行っておりませんが退店を2店舗行ったことから、当第2四半期末時点での店舗数は90店舗（前年同期94店舗）となりました。

c. 飲食事業

飲食事業におきましては、既存店の業態変更を1店舗行ったほか国内1店舗、タイ1店舗の退店を行ったことにより、当第2四半期末時点での店舗数は国内19店舗、海外2店舗となりました。営業面では、カラオケと同様に、FIFAワールドカップ開催や自然災害による影響から集客の鈍化が見られました。この結果、売上高は792,099千円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は19,336千円（前年同期はセグメント損失8,767千円）となりました。

d. 不動産事業

不動産事業におきましては、販売用不動産の売買及び賃貸不動産の仲介業務等を中心に行っております。この結果、売上高は107,945千円（前年同期比75.9%減）、セグメント利益は19,424千円（同79.2%減）となりました。

e. その他

その他におきましては、ホテル事業において、円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。しかしながら、カラオケ事業、飲食事業同様に自然災害の影響などから集客が減少しております。この結果、売上高は108,508千円（前年同期比14.0%減）、セグメント損失は25,085千円（前年同期はセグメント損失18,372千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ162,327千円増加し、30,148,635千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より382,040千円減少し、12,826,870千円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したこと及び販売用不動産が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より544,367千円増加し、17,321,765千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、土地が増加したこと及び有形固定資産（その他）が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ202,226千円減少し、14,387,064千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より560,486千円減少し、5,909,771千円となりました。主な要因は、短期借入金、流動負債（その他）が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より358,260千円増加し、8,477,293千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したこと及び固定負債（その他）が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より364,553千円増加し、15,761,571千円となりました。主な要因は、利益剰余金の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払による減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2,557,126千円減少し、6,477,687千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1,448,813千円（前年同期は1,001,417千円の収入）となりました。支出の主な内訳はたな卸資産の増加額が2,044,334千円、法人税等の支払額が275,355千円であり、収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益が665,837千円、減価償却費の計上が453,168千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,056,570千円（前年同期は1,008,796千円の支出）となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が1,024,203千円、定期預金の預入による支出が130,215千円であり、収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入が130,210千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、50,429千円（前年同期は526,540千円の収入）となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が1,267,837千円、短期借入金の減少額が435,204千円であり、収入の主な内訳は長期借入れによる収入が1,945,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,315,023	6,757,903
売掛金	1,918,111	2,091,011
商品	67,593	58,447
販売用不動産	989,573	3,043,039
貯蔵品	372	250
その他	926,367	882,439
貸倒引当金	△8,132	△6,219
流動資産合計	13,208,910	12,826,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,281,803	8,025,145
土地	3,390,199	3,462,940
その他(純額)	856,990	644,385
有形固定資産合計	11,528,994	12,132,470
無形固定資産	77,423	67,974
投資その他の資産		
その他	5,197,995	5,147,627
貸倒引当金	△27,015	△26,306
投資その他の資産合計	5,170,980	5,121,320
固定資産合計	16,777,397	17,321,765
資産合計	29,986,308	30,148,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	621,037	574,472
短期借入金	751,004	315,800
1年内返済予定の長期借入金	2,300,777	2,439,696
未払法人税等	269,938	208,523
賞与引当金	236,941	239,778
ポイント引当金	137,972	114,622
株主優待引当金	12,397	—
資産除去債務	17,233	9,970
その他	2,122,955	2,006,907
流動負債合計	6,470,257	5,909,771
固定負債		
長期借入金	6,549,297	7,087,541
資産除去債務	221,321	213,795
その他	1,348,414	1,175,956
固定負債合計	8,119,032	8,477,293
負債合計	14,589,290	14,387,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,222,935	2,222,935
資本剰余金	2,666,282	2,666,282
利益剰余金	11,691,849	12,047,525
自己株式	△1,166,007	△1,166,007
株主資本合計	15,415,060	15,770,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,799	△9,523
為替換算調整勘定	△243	358
その他の包括利益累計額合計	△18,042	△9,164
純資産合計	15,397,017	15,761,571
負債純資産合計	29,986,308	30,148,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	13,100,349	13,421,284
売上原価	11,670,463	12,049,013
売上総利益	1,429,885	1,372,270
販売費及び一般管理費		
賞与引当金繰入額	7,814	7,170
租税公課	273,054	298,687
貸倒引当金繰入額	439	—
その他	571,822	569,398
販売費及び一般管理費合計	853,130	875,255
営業利益	576,755	497,014
営業外収益		
受取利息	2,898	2,641
受取配当金	24	2,324
受取手数料	64,564	78,375
その他	64,404	86,483
営業外収益合計	131,892	169,825
営業外費用		
支払利息	36,301	33,287
その他	2,524	18,219
営業外費用合計	38,825	51,506
経常利益	669,821	615,333
特別利益		
固定資産売却益	12,240	—
投資有価証券売却益	9,739	—
受取保険金	—	73,001
特別利益合計	21,980	73,001
特別損失		
固定資産除却損	759	—
減損損失	3,800	10,351
災害損失	—	12,146
特別損失合計	4,560	22,497
税金等調整前四半期純利益	687,241	665,837
法人税、住民税及び事業税	194,073	146,858
法人税等調整額	50,309	66,647
法人税等合計	244,382	213,505
四半期純利益	442,858	452,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	442,858	452,331

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	442,858	452,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,165	8,276
為替換算調整勘定	△244	601
その他の包括利益合計	5,921	8,877
四半期包括利益	448,780	461,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448,780	461,208
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	687,241	665,837
減価償却費	488,212	453,168
減損損失	3,800	10,351
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,416	△2,621
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,348	2,837
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△49,629	△23,350
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△11,815	△12,397
固定資産売却損益(△は益)	△12,240	—
固定資産除却損	759	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,739	—
受取保険金	—	△73,001
災害損失	—	12,146
受取利息及び受取配当金	△2,922	△4,965
支払利息	36,301	33,287
売上債権の増減額(△は増加)	△123,069	△172,899
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,916	△2,044,334
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,008	△110,689
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,139	△46,341
その他	161,068	△6,143
小計	1,109,667	△1,319,116
利息及び配当金の受取額	863	3,094
利息の支払額	△34,066	△32,797
保険金の受取額	—	73,001
法人税等の支払額	△128,591	△275,355
法人税等の還付額	53,544	102,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,001,417	△1,448,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,433,115	△1,024,203
有形固定資産の除却による支出	△759	—
有形固定資産の売却による収入	100,000	—
無形固定資産の取得による支出	△10,000	△313
投資有価証券の取得による支出	△95,184	—
投資有価証券の売却による収入	509,739	—
投資有価証券の償還による収入	5,000	—
定期預金の預入による支出	△130,204	△130,215
定期預金の払戻による収入	130,199	130,210
敷金及び保証金の差入による支出	△42,748	△32,873
敷金及び保証金の回収による収入	27,451	77,905
貸付けによる支出	△5,999	△7,092
貸付金の回収による収入	20,033	21,353
保険積立金の積立による支出	△81,157	△101,156
保険積立金の解約による収入	—	44,246
その他	△2,050	△34,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,008,796	△1,056,570

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	430,842	△435,204
長期借入れによる収入	1,600,000	1,945,000
長期借入金の返済による支出	△1,128,299	△1,267,837
リース債務の返済による支出	△433	—
割賦債務の返済による支出	△278,668	△195,524
配当金の支払額	△96,845	△96,862
その他	△55	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	526,540	△50,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	479	△1,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	519,641	△2,557,126
現金及び現金同等物の期首残高	8,969,729	9,034,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,489,371	6,477,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,879,466	3,776,694	870,005	447,987	12,974,155	126,194	13,100,349	—	13,100,349
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,606	24,208	1,724	31,539	—	31,539	△31,539	—
計	7,879,466	3,782,300	894,214	449,712	13,005,694	126,194	13,131,888	△31,539	13,100,349
セグメント利益 又は損失(△)	664,093	365,711	△8,767	93,376	1,114,414	△18,372	1,096,042	△519,287	576,755

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△519,287千円の内容は、セグメント間取引消去241,572千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△760,860千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,809,339	3,603,390	792,099	107,945	13,312,775	108,508	13,421,284	—	13,421,284
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,221	23,282	600	29,103	—	29,103	△29,103	—
計	8,809,339	3,608,611	815,381	108,545	13,341,878	108,508	13,450,387	△29,103	13,421,284
セグメント利益 又は損失(△)	693,910	367,682	19,336	19,424	1,100,353	△25,085	1,075,267	△578,252	497,014

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△578,252千円の内容は、セグメント間取引消去242,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820,856千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、退店した店舗及び退店が予定されている店舗について、「カラオケ事業」セグメントでは3,917千円、「飲食事業」セグメントでは6,433千円の減損損失を計上しております。